

磐田市

自治会連合会だより

回 覧

VOL.10

平成22年3月1日発行

発行：磐田市自治会連合会

編集：磐田市自治会連合会総務部会

連絡先

磐田市自治会連合会事務局〈市自治振興課〉

☎(0538)37-4811

<http://www.iwatashi-jichikai.jp>

今年度を振り返り

更なる躍進を

自治会連合会長 杉田 友司

自治会連合会の活動に対し、自治会長さんをはじめ住民の皆さまにご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

本年度は、新市長を迎え、取り巻く環境も大きく変化した年であることから、三役会や理事会で市長との懇談を行ってまいりました。特に、世界同時不況の影響で、市の財政が疲弊している事態が明らかになったことや単位自治会においても自治会費の納入や運営に影響がでていると伺っております。

また、災害についても考えさせられる年でありました。初夏の頃から



▲市三役との懇談

騒がれ始め、今なお各所に影響を与えている「新型インフルエンザ」、8月の駿河湾地震、10月の台風と災害に見

舞われ、それによる課題も見えてきました。こうした中で、こうした課題について、市と共善を研究改善をしなければなりません。

このような中、長年の懸案事項であった地区活動拠点施設の確保について、社会福祉協議会と連名で市長に要望書を提出しました。

その結果、合併や組織機構の見直しによる公的建物の一部空きスペース利用等の提案がありました。体育館やグラウンドが併設された形とはいきませんが、今後、住民が利用しやすい拠点施設に向けて行政と共に検討を進めていきます。



▲市政懇談会（御厨地区）

一方、単位自治会長対象に、アンケート調査も実施させていただきました。少し



▲市議会との懇談

会連合会の改革や市への提言に活かしていきたいと考えております。自治会連合会は合併5年を経過し、一体感をもった活動が進められてきました。組織の活性化を図るために、5年間を一区切りとして組織運営や事業活動を見直し、改革を進め、元気のある組織にしていきたいと考えております。そして、今後「安全・安心の住みよいまちづくり」に向けた取組みを皆さんと共に考え推進していく所存です。で、一層のご理解とご協力をお願いします。



▲防犯パトロール感謝状



▲公民館祭り豊岡東地区

子高齢化に入って自治会が抱えている問題や連合会への要望など非常に参考になる意見をいただきました。これを踏まえ、今後の自治

「安全・安心のまちづくり」による住みよいまちを目指して事業に取り組んでいます。

●パトロール推進大会

市内一斉パトロール週間に合わせて開催しました。40台の青パト車両と百七十人が集結しました。

●防犯委員全体研修会

県警組織犯罪対策局長を講師に迎え、地域の防犯力向上を図ることを目的に、講演会を開催しました。

●地区安全会議情報交換会

18の地区安全会議と未設立地区とでその必要性についてなどの意見交換会を開催しました。

●安全防火フェアへ参加

防犯啓発

ポスターを展示し、啓発用品のマスクやチラシを配布しました。



住民安全部 平成21年度事業アルバム



▲地区安全会議情報交換会 (11月4日)



▲防犯パトロール推進大会 (8月6日)



▲安全防火フェア (11月8日)



▲防犯委員全体研修会 (9月12日)



自家用車で防犯パトロール

自家用車等に青色回転灯をつけて防犯パトロールを行う方法があります。

自治会連合会や地域安全推進員等で磐田警察署管内で約400台の登録がされています。(県内第1位)

夕方から夜間には「青い回転灯」が特に目立って、パトロール効果があると注目されています。

しかし誰でもすぐに行うことができず、その申請の流れをお知らせします。

【車にかかる手続き】

- ① 青色回転灯を装備してパトロールをしたい旨の申請を行う
- ② 県警からの許可がでる
- ③ 県警からの許可をもって車検証の書き換えを行う

おおよそ、申請から1か月程度かかります。

【人に関する手続き】

- ① 警察の行う講習会※を受講して「パトロール実施者証」を取得する。

※地区や地区安全会議単位で警察へ申し込みを行います。

発行までに数か月かかります。

青色回転灯によるパトロールをお考えの方は連合会事務局(市自治振興課)までお問合せください。

●問い合わせ先 磐田市自治振興課

☎(0538)3714811



環境部

●秋の環境美化統一行動

9月～11月にかけて支部ごとにポイ捨てゴミ収集や海岸・河川清掃活動が実施されました。今回もたくさんの方が地域の環境美化のため参加しました。



▲活動の様子(11月15日 磐田支部)

●環境美化啓発ポスターコンクール

市内の小中学生から応募いただき、最優秀賞作品のデザインで環境美化啓発グッズやポスターを作成・配布しました。



▲ポスターの原案を描いてくれた長野小1年碓晴景(いかりはるあき)さん

●環境部企画視察研修

12月9日環境部の主催により富士山静岡空港島田連絡所、富士山静岡空港及び空港周辺ビオトープを視察しました。県職員及び空港環境巡視員より「人と自然にやさしい空港づくり」を基本として地域の生活環境や自然環境の保全に配慮され建設された富士山静岡空港に関する説明を頂き、実際に生態系保護の為設置されたビオトープを見学し、開発行為における環境保全活動の重要性を研修しました。

▼空港周辺に設置されたビオトープにて

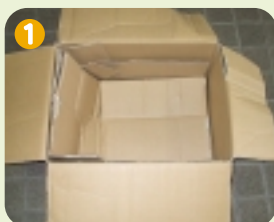


▲富士山静岡空港島田連絡所にて環境保全活動について研修

環境部の会議で話題にのぼった環境への取り組みを紹介します。

ダンボール箱を使ったコンポスト

【★ミラクル段ボ★】の作り方



箱の底と側面を補強



敷き布を敷きます



資材を入れ、よくかき混ぜます



生ごみを入れ全体をよく混ぜ合わせます



敷き布をたたみ、被せます



3～4ヶ月程度で肥料になります

●用意する物

- ★段ボール箱
りんご箱ぐらいのもの
(2重構造でないものは2個重ねる)
- ★段ボ置き台
箱の底の通気性を良くするため
(ビールケースや缶ケースなど...)
- ★敷き布
箱の底に敷いて攪拌するのに便利!
(90cm角以上、大きめが楽です)
- ★資材
 - *ビートモス.....8リットル
 - *腐葉土.....8リットル
 - *もみ殻くん炭...4リットル
 - *米ぬか.....4リットル
 - *乾燥珈琲かす...1リットル
 ※ホームセンターなどで購入できます
(消臭・虫よけ)
- ★虫除け布
いらなくなったTシャツやセーターを利用する
(箱をかぶせる物です)
- ★攪拌する物
先のがっていないもの
(箱を傷つけないため)

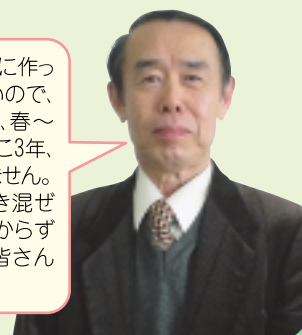
【ミラクル!! 生ごみが消え堆肥になるのです!】

生ごみを入れたとき、しっかり混ぜれば失敗も少なく、扱いやすい容器と言えます。目に見えない微生物が生ごみを食べて、分解してくれます。(分解が始まると温かくなります) 分解には酸素が必要ですので、毎日全体をよくかき混ぜ合わせてください。3ヵ月ぐらいで温度が下がってきます。廃食用油や米ぬかを入れるとまた発酵して温度が上がります。温度が上がらなくなったら、肥料として使えるように1ヵ月ほど熟成させると出来上がり! 生ごみが堆肥になるなんて、一石二鳥ですね!! 雨の当たらないベランダや軒下で簡単にできます。時々日に当ててください。

●問い合わせ先 磐田市環境衛生課 ☎(0538)37-4812

●3年前からやっています! (山下 青城地区長)

私は米ぬか、珈琲かすは入れずに作ってます。寒い時期は発酵が遅いので、生ゴミ処理機を使用しますが、春～秋はミラクル段ボが大活躍。ここ3年、市へ出すゴミに生ゴミは入れてません。毎日生ゴミを入れるときにかき混ぜるだけ。ランニングコストもかからずゴミ減量がでかいです。皆さんも是非!!!



顔の見える関係づくり

多文化共生社会に向けた取り組み

自治会連合会では、平成19年から多文化共生社会推進会議を立ち上げ、外国人との顔の見える関係づくりを進めてきました。推進地区の取組みや、外国人の意識・考え方を紹介し、各自治会で取り組めることにについて提言してきました。

本年度も8月5日に会議を開催し、地区長、自治会長、外国人アドバイザー等49名が参加して、情報交換を行いました。



▲福田支部の様子



▲竜洋支部の様子

また、福田および竜洋支部において、初めて多文化共生に向けた情報交換会を開催するなど、各支部に活動が広がっております。

最近の経済不況の中、外国人の人数は減少していると考えられますが、一方ではこの地に定住を決めている方も多くいます。同じ地域に住む仲間として顔の見える関係づくりに向け、各自治会ができることから始めていただきたいと考えています。

参加しやすい敬老会を目指して

地域ごとに工夫して開催しました

本年度 初めて5つすべての支部で、敬老会を地域開催しました。これは、お住まいの地域で開催することにより、参加しやすく、一人ひとりへの細やかな対応ができるのではとの考えから各自治会が協議を重ね、実現しました。



▲子どもからのお祝いの言葉



▲みんな聞き入っています

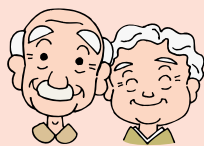
今後、より多くの方にご参加・楽しんでいただけるよう企画していきます。

～催しの例～

- 三味線や琴、太鼓の演奏
- フラダンス、日本舞踊
- 子供からの歌や手紙のプレゼント
- 寸劇（オレオレ詐欺、交通安全）
- 地域の祭りと同合同開催

参加者のこえ

- 地元の方が余興をしてくれた手づくり感がよかった
- お祭りで若者が作った焼きそばやおでんを食べて大変楽しく盛り上がった
- スライド観賞で、昔の地域や人物が映し出されて非常になつかしかった



編集後記



編集委員長
村松伸洋（上神増）

本年度は、敬老会が市内全域で自治会開催となり、参加者が増え好評でした。又、防犯の地区組織が拡大し、青色防犯パトロールなどの活動によって犯罪の認知件数や不審者の減少傾向が報告されています。この活動に対する県警本部の感謝状授与を素直に喜び合いたいと思います。

他にも、環境美化活動や防災訓練等、連合会が主唱する諸事業も含めて、活動に一体感が醸し出され、連合会の基盤が概ね確立し安定感が得られた年度だったと考えています。

私たちは、安定がマンネリを招かぬよう自戒しつつ、今後も継承する事業に「ひと工夫」を加えて展開することが必要です。

市の財政事情が厳しい時だからこそ、私たちは今日までの活動に自信を持ち、連合会の真価が問われるとの意識で、地域活動の底力を創り上げていこうではありませんか。